

令和6年度 第6回 牛津高等学校 学校魅力強化委員会（学校運営協議会）議事録

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第6回学校魅力強化委員会（学校運営協議会）の会議録を公表します。

開催日 令和7年2月20日（木） 於 牛津高等学校会議室
開催時間 17:00～18:00
出席者数 委員10名 事務局3名 SAGA コラボ校内委員1名
出席者 <魅力強化委員>
長戸委員 高元委員、横尾委員、七浦委員、大坪委員、ドジソン委員、金森委員、
野口委員、山本委員、江頭委員（校長）
<事務局>
鍋島（教頭）、古川（事務長）、池田（主幹教諭）
<SAGA コラボ校内委員>
友田（事務）

【会議の内容】

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 協議

（1）令和6年度学校評価結果について

令和6年度学校評価結果について主幹教諭から説明

（委員1）学校関係者評価を記入するときに、学校評価結果のどれが学校運営の項目か教育活動の項目がわからないので説明をお願いしたい。

（主 幹）どの項目も教育活動であり、学校運営にかかわる内容を含んでいるが、本校の生徒に関する項目が教育活動。生徒以外の教職員や中学生や地域活動に関する項目が学校運営ととらえてほしい。昨年度の学校関係者評価では学校運営、教育活動の項目が同じような評価になっている。

（委員3）教職員の残業時間は昨年よりも大きく改善して良い結果が出ている。他の高校との相対評価や比較できるものはないのか。

（教 頭）義務制の学校、高校、特別支援学校の結果を示したものはある。それによると、義務制特に中学校において部活動などがあり時間外が多い。特別支援学校では残業時間は少ない。部活動が盛んな学校や普通高校では残業時間が多い傾向にある。比べると本校の残業時間は少ないほうである。

（委員2）一番残業時間が多い方でどれくらいか。

（主 幹）一番多い方で月100時間を超える方がいた。

（教 頭）年間を通して1人、高校総体の時に部活動や審判などで時間が増えたのもで、産業医の先生に面談もしてもらっている。短期の特別な事情があつてのことで、それ以外の先生は適正な時間で行ってもらっている。

（委員1）保護者アンケート結果の自由記述のところで、服飾デザイン科の生徒が遅くまで残って活動をしているとあるが本当か。

(主 幹) 服飾デザイン科では、ファッションショーや文化祭などのイベントの前に、作品制作のために遅くまで残って活動をするこゝもあつてゐる。いつもではない。その場合は保護者に連絡をするなどして許可を取つて行つてゐる。1年生の保護者の方なので状況がうまく伝わつてゐなかつた。

(委員 2) 学校評価結果について、反対や修正の意見がなければ承認ということかどうか。

学校評価結果について委員会で承認される。

(2) SAGA コラボレーション・スクール事業成果報告書について

SAGA コラボレーション・スクール事業実施報告書にいて主幹教諭から説明。

(委員 2) 3年間何をやってきたのかが良くわかる。よくまとまつており、我々がやってきた内容がよくわかる。逆に課題もわかつてきた。

SAGA コラボレーション・スクール事業成果報告書について承認される。

(主 幹) 県議会で審議がされているが、来年度から3年間の佐賀県の魅力化促進事業の指定校に本校が採択される予定である。業務としては SAGA コラボレーション・スクール事業と同じような内容であるが、本校が令和8年度から地域みらい留学に参画する予定で、来年度はその準備の業務が含まれる。来年度も委員の皆様のご協力をお願いしたい。

(3) 令和6年度地域連携取組の報告

令和6年度事業計画と実績について牛津高校の取組について主幹教諭から報告

4 閉会

諸連絡で、交通費の算定のための調査票の記入について連絡があつた。